

防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書の提出を求める陳情書

2022年 8月 31日

知立市議会議長 中野 智基 様

陳情者

陳情趣旨

政府に対し、ミャンマー国軍からの士官・士官候補生の受け入れを即時全面中止すること、昨年の衆参両院の国会決議を尊重し、ミャンマー国軍に対して厳重に抗議すること、直ちに国軍との関係を断ち切りミャンマー国民への支援を強化することを趣旨として、意見書を提出してください。

陳情理由

昨年 2 月 1 日に発生したミャンマー国軍の軍事クーデターから一年余が過ぎました。

今、ミャンマー国内では、国軍による武力と暴力によって、これまでに 2,000 人余の尊い命が奪われ、多くの人々が不当逮捕、監禁、拷問される等、深刻な人権蹂躪が続いています。また、経済も混乱を来し、生活困窮者も増大しています。

ミャンマー国軍に対抗して、平和と民主化を求めるミャンマー国民の粘り強い闘いは、困難の中にあっても継続し、その闘いは、ミャンマー国内だけではなく、世界各国、全国各地に連帯の声が広がっています。

このような中、クーデター後、防衛省はミャンマー国軍の士官候補生及び士官の計 4 名を留学生として受け入れ、軍事訓練等を行うことが明らかとなりました（4月26日、衆議院安全保障委員会・岸防衛大臣答弁）。

留学生は、防衛大学校や自衛隊の施設内で「戦闘の基礎」や「実弾射撃」などを学んでいるといわれています。

これに対し、5月17日、国会議員の超党派の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」は、ミャンマー国軍からの士官・士官候補生受け入れの即時中止を求める要請を政府に行いました。

昨年、衆参両議院では、クーデターを非難し民主化を求める決議が採択されています。

日本政府がミャンマー国軍の軍人を留学生として受け入れ軍事訓練等を教えるということは、ミャンマー国軍を正当化するものであり、そのことは、日本政府がミャンマー国民弾圧に加担する可能性があるとして指摘されており、断じて容認できるものではありません。

よって上記のことを強く政府に対し要請し、意見書を提出していただくよう、知立市議会に求めます。

防衛省によるミャンマー国軍士官・士官候補生の受け入れ中止を求める意見書（案）

昨年 2 月 1 日に発生したミャンマー国軍の軍事クーデターから一年余が過ぎた。

ミャンマー国内では、国軍による武力と暴力によって、これまでに 2,000 人余の尊い命が奪われ、多くの人々が不当逮捕、監禁、拷問される等、深刻な人権蹂躪が続いている。また、経済も混乱を来し生活困窮者が増大している。

ミャンマー国軍に対抗して、平和と民主化を求めるミャンマー国民の粘り強い闘いは、困難の中にあっても継続している。その闘いは、ミャンマー国内だけではなく、世界各国、全国各地に連帯の声が広がっている。このような中、クーデター後、防衛省はミャンマー国軍の士官候補生及び士官の計 4 名を留学生として受け入れ、軍事訓練等を行うことが明らかとなった（4 月 26 日、衆議院安全保障委員会・岸防衛大臣答弁）。

留学生は、防衛大学校や自衛隊の施設内で「戦闘の基礎」や「実弾射撃」などを学んでいるといわれている。これに対し、5 月 17 日、国会議員の超党派の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」は、ミャンマー国軍からの士官・士官候補生受け入れの即時中止を求める要請を政府に行った。

昨年、衆参両議院では、クーデターを非難し民主化を求める決議が採択された。

日本政府がミャンマー国軍の軍人を留学生として受け入れ軍事訓練等を教えるということは、ミャンマー国軍を正当化するものである。そのことは、日本政府がミャンマー国民弾圧に加担する可能性があるとして指摘されており断じて容認できるものではない。

以上をのべて、下記のことを強く要請する。

記

- 1、政府は、ミャンマー国軍からの士官・士官候補生の受け入れを即時全面中止すること。
 - 2、政府は、昨年の衆参両院の国会決議を尊重しミャンマー国軍に対して厳重に抗議するとともに、直ちに国軍との関係を断ち切りミャンマー国民への支援を強化すること。
- 以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 4 年 月 日

議会

宛て先、内閣総理大臣、内閣官房長官、防衛大臣、外務大臣